資料５

―報告書骨子（案）―

第１　はじめに

第２　若者の消費者被害の現状分析

１．過去の若者の主な消費者被害事件

２．若者の消費生活相談の現状

・若者の消費生活相談の傾向

・若者の消費者トラブルの特徴やキーワード

３．若者を取り巻く消費者被害・トラブルの現状

・若者の勧誘被害の実態

・相談現場から見た若者の消費者被害

・救済現場から見た若者の消費者被害

第３　若者が消費者被害に遭う心理的要因の分析

Ⅰ　総論：事業者が若者に与える心理的な影響

Ⅱ　若者の心理傾向に関する調査と分析

１．アンケート調査結果と分析

・アンケート調査の実施概要・基礎データ

・内的要因に関する分析

・勧誘時の状況（状況的要因や心理状態）に関する分析

・その他分析

２．ヒアリング調査結果と分析

・ヒアリング調査の実施概要

・事例の概要

・ヒアリング調査結果からの分析

３．若者が契約締結の判断に至るまでの心理モデルの提示

・アンケートとヒアリングから導かれる心理モデル

・心理モデルへのあてはめ（ヒアリング事例）

Ⅲ　被害の拡大―マインドコントロールについての考察（※第５回の議題）

第４　比較検討

１．法学と心理学との関係性

２．現行制度と心理モデルの比較と考察（※第６回の議題）

第５　若者が被害に遭わないために注意すべき点の検討

１．若者への注意喚起に向けた視点

・本検討会での論点

・分析結果を踏まえた被害に遭わないための注意点

２．産官学協働での大学生による消費者教育推進の取組についての紹介

３．本検討会を踏まえた若者への注意喚起等について

第６　おわりに

（参考資料）委員名簿／アンケート調査票・集計結果（グラフ＋表）